

## ■フランス：フランスと中国が原子力分野で一連の合意

フランスのフィヨン首相は2009年12月21日、訪問先の中国で原子力分野に関する一連の合意を締結した。両国政府は、原子力技術者の養成および核燃料再処理工場の建設に道を開く核燃料サイクルについて合意した。中国政府は、フランス電力会社（EDF）と中国広東核電集团有限公司（CGNPC）が欧州加圧水型炉（EPR）の建設・運営のための合弁会社 TNPJVC (Taishan Nuclear Power Joint Venture Company) を設立することを承認した。EDF は中国においてこれまで原子力発電所の建設に協力してきたものの、運営主体となる合弁会社を設立するのは今回が初めてとなる。また、アレバはCGNPCとの間で、中国での新規プラント建設のためのエンジニアリングおよび部品調達を行う合弁会社WECAN(アレバが45%を出資) を設立することで合意した。WECANは2010年に従業員2,000人規模で事業を開始し、EPRおよび中国における100万kW級原子炉の部品調達を行うとともに、中国国外へのサービスの提供も視野に入れた事業展開を行う。なお、アレバは100万kW級原子炉用に24基の1次冷却材ポンプを約2億ユーロ（約260億円）で契約した。